

鳥取砂丘西側整備構想（案）について

ご意見をお寄せください

鳥取の観光地といえば「砂丘」と言われるように、鳥取砂丘は全国でも有名な観光スポットです。

しかし、現状は、観光客のニーズに対応した施設などの改修や、サービスの改善はほとんど行われていません。また、現在使用されていない施設や廃止された施設があり、美しい鳥取砂丘の景観を損っています。

鳥取市は、この自然が創り出した貴重な観光資源「鳥取砂丘」を魅力ある観光拠点として再整備するため、鳥取砂丘周辺地域全体を考えたうえで、鳥取砂丘西側について整備構想（案）をまとめました。

砂丘西側整備の考え方

砂丘西側は、国立公園特別保護地区および天然記念物指定区域を外れた部分が多く、砂丘という特性を持ちながらも、建造物や使用法の規制が比較的少ないという利点があります。また、標高の高いところでは、その斜面から鳥取砂丘、日本海そして多鯨ヶ池が一望できる素晴らしい景色を眺めることができます。

これらのことから、砂丘西側は、砂丘を自由に使い遊べ、砂丘の美しさを楽しむことのできる自然体験の拠点として位置づけます。

そして、現在、砂丘西側にある「柳茶屋キャンプ場」「サイクリングターミナル」「子どもの国」などの野外活動を行う施設や、子どもたちが砂丘を楽しめる施設を改善し、また連携を図ることにより砂丘を体験し満喫できる区域とすることを目標とします。



西側から眺める砂丘も魅力的です。